



新宝島

教育

1982

イベントを仕掛ける！ 「さかあがりパーティ」



10月特典

向山洋一
教育資料

No. 11

2024
OCT.

本資料について

がよい。

「イベント」は「授業」とは違う。

授業は「日常的」である。

イベントは「非日常的」である。

授業では「まじめさ」「ていねいさ」「持続力」が要求される。

イベントでは「発想力」「実行力」「瞬発力」が要求される。

イベントは「自由にできる」「自分たちでできる」祭りである。

世界中、どの国にも「祭り」はある。

幾千年もの昔から「祭り」はあった。

それは「祭り」が、生活の中で、他にかけがたい役割を果たしてきたからである。

本冊子には、

はな。しかし、子どもの成長の場合はそれだけでない。「イベント」は、その一つである。向山氏は次のようにいう。

学校でやる「イベント」は、「これ学校でやっちゃいけないんじゃないか」というようなことがどっかにあった方

(3) 向山洋一『学級通信アチャコ No.81』
調布大塚小 4 年 1982

向山実物資料 A118-08-01-81

(4) 向山洋一『学級通信アチャコ No.82』

調布大塚小 4 年 1982

向山実物資料 A118-08-01-82

(5) 「さかあがりパーティ（児童原案・

プログラム）」調布大塚小 4 年 1982

向山実物資料 A49-11-01

(6) 向山洋一『学級通信アチャコ No.83』

調布大塚小 4 年 1982

向山実物資料 A118-08-01-83

(7) 児童作文「さかあがりパーティ(1)」

調布大塚小 4 年 1982.12.11

向山実物資料 A49-12-01

(8) 向山洋一『学級通信アチャコ No.40』

調布大塚小 4 年 1982

向山実物資料 A118-08-01-40

(9) 向山洋一『学級通信アチャコ No.52』

調布大塚小 4 年 1982

向山実物資料 A118-08-01-52' 他

が収録されている。

なお、解説は井戸砂織氏である。

4・1・2全員、さか上がりができた事
ぼくたちの、クラスの人、みんな、さか
上がりが、できています。でも、1人だけ、
できません、それは、このぼくでした。
ぼくは、4・1・2で、とても、はずかしかった。
でこの、10月14日の、日の三校時は、体育
だった。でも最しよは、ときよ、さう、なの
で、ぼくは、
1やった。

コクヨ 20×10

ぼくたちの、クラスの人は、みんな、さかあがり、できています。でも、1人だけ、できません。それは、このぼくでした。

ぼくは、4・2で、とても、はずかしかった。でこの、10月14日の、日の三校時は、体育だった。でも最しよは、ときよ、さう、なので、ぼくは、
— やった —

と思った。

でも、世の中そんなにうまくはいかない。やはり、鉄ぼうをやった。

ぼくは、高い鉄ぼうでやったら、もう少しだった。そしてしり上がりをやってできなかった。

ところが、低い鉄ぼうでやったら、なんとできた。

ぼくは、うれしかった。
みんなに、どうあげられて、ほんとうにうれしかった。

$$(0, 4)(\infty)$$

金買がヤカ上ガリできたこと

渡羽真弓

体育の時間、鉄ぼうをししました。
いながき

君は、さか上かりができませんでした。

でも今日、
できたのです。
最初は、
あと一息

なのに上がらないでいました。
少し休んでや

った
たら、
み
ごと
に
で
きた
ので
す。
み
んな
も

っ
か
ん
ば
し
あ
と
一
息
ほ
ら
い

とおうえんしていただきました。
トンボもおうえん

ん
し
て
い
た
よ
う
で
す
。

No. 2

10月14日(水)

日本放送協会

できたあと、みんなで、いながき君のことを
どうあげをしてあげました。いながき君がう
れしかったと、同じくらいみんなも、とって
もうれしかったのだと思います。クラス全員
が、できたなんてかっこいいなあ？
これから、鉄ぼうを、がんばらないと、い
ながき君に、ぬかされてしまいます。だから
がんばるゾ！

5																			
10																			
15																			
20																			

共席 B571 B5 上45
(共 5 号)

402

3 使達一人一人の暖かい気持ちと喜びが胸にシーンときて

私はかなりたくさんの方々から便りをいただきました。

調布大塚小に赴任した七年前ぐらいは、父母からが圧倒的だった。どのくらいあったかというところ、手紙を綴って
整本するとクラスの父母からの分が二冊、三冊、他のクラス他の学年の分が一冊ほどあった。

返事もせっせと書いて、かなりの量にはなった。今はとてめできないうことである。

会によろめることもあつて、田園調布小、奥沢小などのあ母さん方との会もあった。(今はとてめできないうことである。あがいで、調布大塚小近隣地区の教育課題がすいぶん理解できた。

最近、教師からの便りが多い。前は手紙を書いていたが、現在は原則として葉書きである。

中には、遠い下関の先生との長い文通もある。女の先生である。といつても私より十歳以上と年上である。小方先生の友人なのである。小方先生が送った私の本が縁で下関の何人かの方々と文通が始まった。

文通といつても「教育」のことだけである。

このクラスの親からも、たまに便りをいただく。返事を出さずに失礼する場合が多いが、たいへんありがたいことだと思っている。

教室における教育の営みは、このような絆も大切なものであろう。

今日の朝、教室に行ったら一通の封筒がのつていた。

うれしい便りであった。次の文面である。

向山先生へ

土曜日に、ためてしまった「アチャラ」を会社での仕事の前に読みました。私は会社の机に向って議室の一番落ち付きますので、多分ものごない限りは、いつもさうしています。

その中で「希聖君のさか上がりができた」といつ皆さんの文章を読んで、ほんとうに感動してしまいました。

希達、一人一人の暖かい気持ちと喜びが胸にジーンときて、私にも分らないのですが、なぜか涙が出て困りました。

いつもは感情を余り出して語らない子供が、夕食の仕度をしている側に来て「希聖君がさか上がりがるようになるって、四年二組は全員できるとなったの。だからパーティーをやるの」と言っていた昨日の輝いた顔が思わす目に残るがむきました。

この感動は、希達の子育ての思い出としてたれられたいと思います。「アチャラ」の文章の中にもあったように、ほんとうに楽しいパーティーにしてほしいと思います。

一九八二、十一月

〇〇〇〇

乱筆致を申し訳ありません

ジョージ君(漫画家)の文体で

多めだち、100のミミ、パーティに参かれ
ている。

全員がさが上がりなってきたからである。

全員が何かができるのだからとばかりに、

[illegible]

あるのが、ハンドルの「ゆるみ」と同じで、サ

しの目減りは黙認されている。

「何もかもすべてができる」という子供は、友だ

ちがでまはいとてふうるはあゝ。

だから、全員がさか上がりができる、というの

は「た」と「は」

ただいとはいながら即パーティをやるといふ

ニと化した。(二)ラベンの理論、しかりして

いるが、あゝ

ただごとではない事件のパーティなのだから、パ

ーティのため「ただ、こゝにないパーティ」をやる
と、このように書いてある。

どうしてきつたかといふと、めうめんはう
かいて發着してきて、当分のうり行きでしてきつ
たつて来たのである。

১৯৩৩/৩৪ খ্রিঃ ১১/১২

「あかしを食べていいことにしようか」といふ提案があつたが、それは「たが、てんごま」といふことでは簡単にぬになつてしまつた。

四年二組の生徒で、だいたい男は五、女は二、三を
「とてへんさん」で統一して、そのまゝに「まのね」
「のね」で歌へ、ちがひをきかして、そのまゝに
ぬながらいくうちに、だいたい「のね」のまゝ

九つの班がすべて計画を作っている。

明日、全校満足です。

九つぐらい計画をたこれば、それかまじなものがあるだろうと担任が考えているからである。

そして、発想・企画・実行の一筋りの押箱を数えておこうと知っているからである。

今までの「お筆しめ会」なら「折るとりゲームをやろう」といつく「やろう」といつくになり何となくやってしまってきた。

ところが、今度はさける回にひかないのである。

「折るとりゲームをやろう」という発想を、企画にはでいなくてはならないのである。

何の目的をやめるのか、方法をどうするか、時間

はどのくらいかかるのか、担当者は誰か、

予算はいくらか、準備するものは、後付けで

は誰がするのかわ、このようにして企画書に整

然と美しく書かなくてはならないのである。

「ただ」とはないパーティーを発想したとたん

「企画」「準備」「担当」「予算」「目的」などという考

えたこともないことを考えなくてはならないというたのである。

だからパーティーの準備は、国語や算数や体育や図工の勉強なのである。(ミニミニ入んの理論) かりしていいなあ)

九つの班の計画を聞くと、どうも共通していることがありそうなのである。

それは、世の流れが「学校で何か食べた」という方向に向っているのである。

それは「たぶん」でなに食べ方をしたい」「今まではなかったものを食べ方をしたい」という傾向が強いのである。

どうせ、めったにできない「ただ」とでないパーティーをやめるからには、自分たちが夢に思っていた「たぶん」でなに食べか、をどうするかについて思っているというのである。

その一方で、うたれたい。

持ってきていいもの

おにぎり、自分の家で作ったもの、

思いついたらてきとうな食べ物

あいなりさん、ひりまき、野菜、つぼみのおみそ汁、おいしいもの、フーッパンタ、コーンシユウ、飲みもの、なるまき、ヨーガーとスィーツ、バナナ、そのほか、うでたまご、ジャガイモ、おこのみやき、ちゃんわん、おやつ、そのほか、やき、たこやき、もち、ムース、ケーキ、すし、おせんべい、おかし、カップラーメン。

代表 (松崎)

もりつづのあさは、自分の持っている物の入れ物の中に、自分の食べる入れ物を詰めてくる。つぼみ、自分で持ってくる。かりけは、それを少しだけ、作ってくる。

またんき者

学級生二名 男・女
時間 10:40分始まり 2:30 終わり
自分のお母さんも来てよかった

いろいろかき

なるへくとくする物は手作りでおねがいします

いろいろかき

紙さう 約5枚 コップ 2つ わりばし
もって来る量
とぶんの作れるものをもってこれるものできるだけたくさん

用意 かにつけ
全員 かきする
(みんな協力する)
中には学級生を中心にはいる
※20分休みには必ず遊びにいかに用意をする
かき
つくえる人はたくさん作ってもてくる(なるべく)

トアのかさり

めがたりだけ
てなくさんが
くかさり紙テ
ィングがー
さ作る
前 後

もりかみの
作りもの
☆♡

プログラム

- 1.はじめのことば
- 2.はじめの歌(曲は全員できめる)
- 3.歌合戦(やりたい人だけ)
- 4.自由時間
- 5.げいクイズげき(やりたい人だけ)
(げい、クイズげきをやる時は、学級会
のつくえの形にする)
- 6.おかしや飲み物を食べたり飲んだ
りする
- 7.ゲーム(いすとりゲーム)
- 8.校庭でドッチボール
- 9.ラッチタイム
- 10.四年にな、てさかあがりができる
人が一言う
- 11.おわりの歌
- 12.おわりのことば

係りの分たん

かざりつけ、全員食料、全員
はじめ、おわりのことば、学級委員
司会、学級委員
ゲーム(きぼうする人)

かざりは、前
の日に、全員
でつくる。

だいたい5、6こはこを用意して、上に、手(うで)が入るくらいのあなを開けます。はの中には、ビー玉が入っています。ビー玉には、数字が書いてあります。その数だけ、あめをもらえる。というゲームです。

8食料---お母さんにも協力してもらって(もりなはい)以1ズらいは、食べる物を持ってくる(買、てもいい)ジュースなど、飲み物も持ってくる

9し会---希ぼう者にやってもらうけれど、もし、希ぼう者がいない場合は、お祭り係の人にやってもらう。

10つくえ---好きな人どうしてならい。芸をす

芸をす [先生]

る時は、左図のように、食事をする時は、左下のようにならべる。

11始め、終りのことば---希ぼう者がいたら、やってもらう。希ぼう者がいない場合は、お祭り係にやってもらう。

食事をす [先生] する時

12メニュー---チーズケーキ6つ、シュークリーム38こ、デコレーションケーキ2つ、フライドチキン76こ

おまつり「さかあがりパーティー」原案(8はん)

1目てき---けんかのない楽しいパーティー

2日時---11月13日(土) 9:35~12:20

3場所---調布大塚小学校4年2組教室(校庭)

4係の分たん---かざり作り全員、かざりつけ全員、

食料全員、し会希ぼう者 ゲーム 8はん、^{始め}終り

のことは、希ぼう者またはお祭り係

5プログラム ①始めのことは②4年になっ

て初めて、さかあがりかできた人から1言③

芸(やりたい人だけ)④さし入れ始め⑤

ごちそうを食べる⑥お寺をはいしゃの休

けい、自由時間⑧合そり⑨ゲーム⑩校庭

に出て、全員さかあがり⑪みんなではく

手⑫教室にもどってジュースでかんはい

⑬おわりのことは⑭向山先生からパーティーの

感想を一言

6かざり---前、後の黒板と 天じょうに

は、わかざりをつける。入口(ドア)には、おり

紙などで作ったすだれ、天じょうの真中には、

くす玉をかざる。

7ゲームの内よう---つかみどり

その他、書きたい人も書く。でも、かんけいがないことは書かない。 前の黒板 後の黒板

わがざり

大パーティー

3 2 1 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 プログラム

大パーティー

大パーティー

前

くすま

後

天じょう(下女を見た男)

大	パ	ー	テ	ィ	ー
大	パ	ー	テ	ィ	ー
大	パ	ー	テ	ィ	ー

フライドポテト(大)76こ、スパゲティ・ミートソース
38さら、とうもろこし38本、やきとり144本、
ポテトチップス、カール、たこやきくん、サッポロ
ポテト、それぞれ6ふくろずつ、あられ、せんべい、
6ふくろ、オレンジジュース(かん)20本 コーラ(かん)10
本、カルピスソーダ(かん)5本、その他いろいろ、
ここに書いてあるので、どうしてもむりな物は、持
てなくていい。この他に、とくいな料理があたら
り持ってきていい。

13 芸... やりたい人はやる。やりたい人がいない
場合は、プログラムからぬかす。

14 全員さか上がり... 校庭に出て、全員さか
上がりをする。けがをしている人や、病気の人
は、むりにやらないで、いい。

15 お母さん方について... よぶかよばない
かは、多数けって決める。よぶ場合は、
食料をふやす。

16 先生から、パーティーの感想を一言... パー
ティーの最後に、向山先生に、パーティーの
感想を一言、言っていたたく。

17 かざりの図... 前の黒板(黒板当番が書く、

パーティの計画はん

目てき

せつかくのパーティーなので楽しくしたい。

日時

11月6日(土) 3、4時間目

場所

4年ニ組の教室で。

プログラム

1. はじめの言葉(学級員)

2. クイズ(クはん)

3. ものまね(全員)
休けい

4. 手品(クはん)

5. 人間バスケ

6. がりがニフリ大会(生物係)
10分

つくえやいすの説明

1. つくえのこと

つくえは絵のとおりなら

でる。この机はこうかへ

2. いすのこと

いすはまん中でまわ

ります。

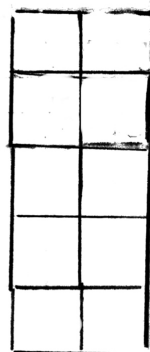
しかいやその他のこと。

しかいは学級員がやる。

はじめの言葉、あわりの

言葉は学級員がやる。

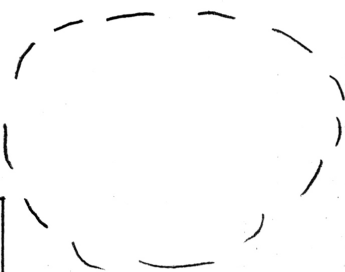
8. あめくいきょうそう。
9. あわりの言葉。
つくえのならで方



「のかわ

つくえ
いす

小林	たけみ
北村	タノ
伊原	星
ながい	石川
寺村	座間



歌は7はんで決める。
人間バスケットのしかい
は、学級員がやる。

かざりつけ(その他)

1. くさり
2. はなたば

3. クラッカー

4. てつぼうの作った物。

あめくいきょうそう

人



あめくいきょうそうスタートへもどりたつちする。

あめくいきょうそうの
せつめい

こうしろはタオルが何かで
しばって下さくつくえの
上にははこがあります。
はこの中には粉が入てま
す。粉の中にはあめがはい
そます。それそれあめ
は、一入ゴのわりあてで
す。スタートからはいて、

プログラム

お母さんたちと
よんだ方がいいと
思う

6、 1. はじめのことは(学級い員一名)

2. せききめ。

3.

4.

5. みんなのがい。

6. うた、クイズ。(くみを作るのは、自由)

7.

休 け い (5分)

8. みんなで四曲歌をうたう。(クループは、表でやる歌)

9. 逆上りできるようにな。た人が、一言ずついう。(かんそう)

10. みんなのゲーム (ものまね)

11. 先生から一言。

12. おわりの言は (学級い員)

※さちそうは、みんなのがいいうにクイズなどやっている中に
食べる。

食べる時のしつうな物の数

○かみアップ 60こ

○みんなの家で、クッキーを作る家は

○かみざら 60まい

クッキーを、かく家 50こぐらい作、

○こぞうかし

てくる、

パーティ 一用(A)を

ミヤら (B)

(からしぬぎ)

○シュークリームを、60こくらいもって
くる。

○りボンジュース
ミケーヌ。

〜6-2〜



(2まい目につづく)

おまつり「逆上り」パーティー 6月 32の やり方

1、楽しいパーティーにしたい。

方法

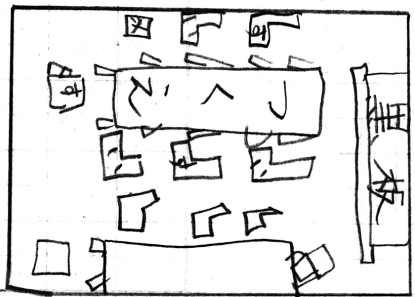
- 。 いろいろげきをみんなにしてもらう。
- 。 みんなでげきをする。(おみくじなども)

2、土時日の三、四時間目など！

3、食料のこと

- 。 食べる時みんなの机をたてに
ならべてテーブルクロスをみる

の食料など、お参さん方にまかせる



4、かざりのこと

パーティーの前の日に、かざり
をみんなで作ること。
(教室で)

- 。 へやじゅう、おりがみなどをつくったものをはり、ハテにする
- 。 花などもよういする。
- 。 前の黒板うしろの黒板かざいだらけにして、らくがきはしない。
- 。 ポスターなどはるといい。

5、せきのきめ方

- 。 すきな入とすわる。

しかい

学級いじり名

学級いじりのせきは、みんななる
べく前の方。

10. せきをならべる人・・・全員でやる。

かざりつけ・・・全員でやる。

かざり作り・・・できる人はやる。

プログラムを書く・・・学級委員（またはきぼう者）

11. かざりで作ってくる物。

◦くさり（長い） ◦つくえの上の花（^{もってくる人}きぼう者）

◦かべなどにつける花 ◦すだれ（ドアの）

◦花の花びん（きぼう者）

12. やくそく

◦ けんかをしない。

◦ みんなの休みの時しゃべらない。

◦ ゴミくすは、ゴミばこに入れる。

◦ かざりをとったりしない。

◦ 人のけいにもんくをいれない。

◦ 黒板にらくがきしない。

◦ こぼしたものはひろう。

◦ せきをきめてきこいうなくて、もんくをいれない。

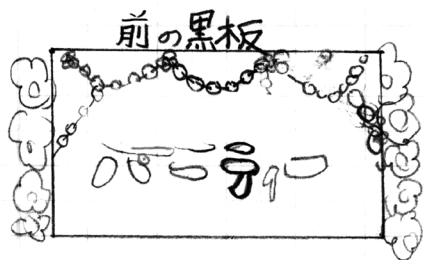
◦ 他のクラスにめいやくをかけない。

◦ 物をなげたりしない。

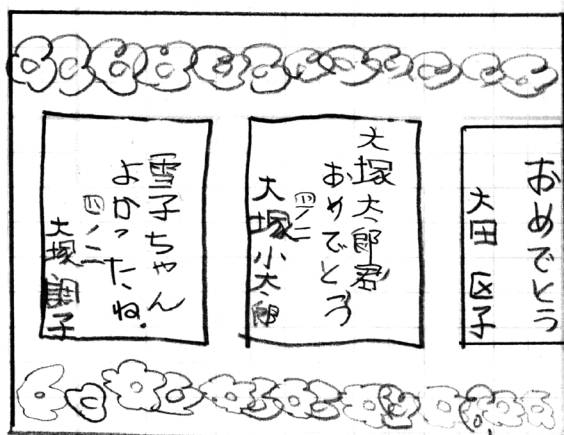
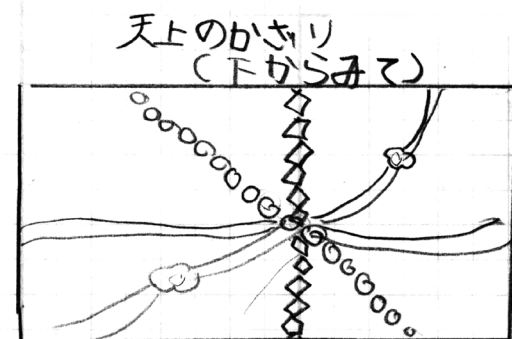
⑧ おまつり逆上りパーティー原安 6ぱん ⑨ 2まい目

8. のかく自、白令たちで、スアー、フオー、ク、サイ、フ、キもって
くる。(1、2本)

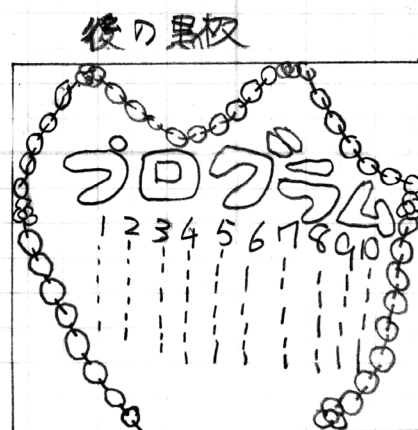
9. かざりの図



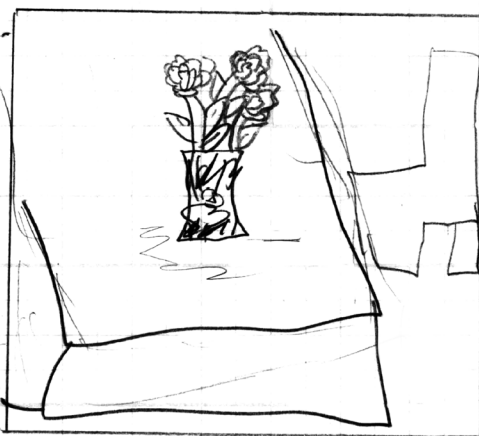
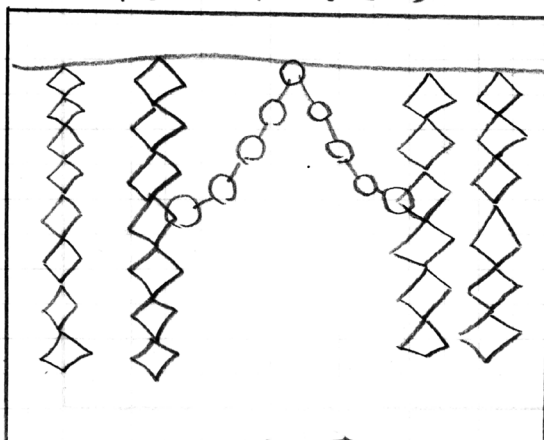
かべのかざり



ドアの所のかざり



テーブルの上のかざり



「さかあがりパーティ」の原案未討議

「さかあがりパーティ」の原案は、班ごとに作られた。

各班の原稿を印刷するとはねになった。四年生の印刷物としてはかなりの量である。

各班の代表者に、一〇二分程度の説明をしてもらった。文章を読んで説明に代えた方が多かった。

「この中から、この原案を絶対にだめだといふものを一つだけ決めなさい。」と、私は言った。

各班ごとに意見をまとめたさせて、発表させた。司会が私が担当した。かなり複雑な議事になるからである。

「二班、五班、七班、八班」が「だめだ」という候補にあげられた。私はそれぞれ「だめな理由」を言うつもりだった。その後で、だめだと言われた班に30秒間の弁明のチャンスを与えた。「よい呀、うちの班にしかないとこそアペールしろ」と言ったのである。

その後、採決をした。採決の場合は、個人でやった。班とは別の意見の人もいるからである。採決の時、意見はかなり、ぼろぼろであった。この結果、七班が二十票を得て、姿を消した。七班の意見には、「盛大に食べる」という方針があったのである。

私は、この後三十秒の班会議を指示させて、同様のことをくり返した。

五班、十六票、二班、十二票、八班、八票、であった。五班が二番目に姿を消した。「食べる」という方針が「サンドイッチとみにぎりだけであまつた」というのは消えた理由である。

私は、更に班会議を開かせて、次に消す班を決めさせた。

「ミニ、注目すべきことが見えた。横田さんが、石川さん・唐南さんに「次は二班を消そう」と相談しているの
である。つまり「六班・八班連合」の結成をよびかけているのである。

これは、他の班の動きも同様であつて、ミニまで来て、やつと「班ごとになつておつて動く」傾向があらはれたので
ある。各班は、次のように消す班を指示した。

8班 ← ①班
8 ← ②
2 ← ③
8 ← ④
8 ← ⑤
2 ← ⑥
2 ← ⑦
2 ← ⑧
8 ← ⑨

各班が理由を言つていった。内容も高度になり、ユーモアもあつた。希聖君が9班を代表して言つた。「8班の案
は、もう一度、ぼくを腹上げにするとあるが、毎にうらない。みんなは、ドンと笑つた。

採決の結果、二班を消す十六人、八班を消す二十人であつた。フワイという歓声があがる。
更に班合戦がおきた。次は二班への集中攻撃である。

二班は、三班を消すことを主張したが、三十三対四(三班全員)の大半を決定であつた。拍手があきて、歓声が
あがる。もうゲームとなつてくる。

一遍り消すのが終つて、次は専ら戦ひだ。一班を消す四人、三班十六人、四班四人、九班十三人、三班
が消えた。ミニまで二十五分かつた。もう終わりのである。

私は一つのチャンスをつかんだ。「明日、この続きをやろ。もっと良い案を作りたい」と思ふ案は修正案の提出を求め
る。明日の二の今休むまで。今日、夕方になつた班もくわしいだろう。敗者復活の修正案の提出を求めた。
明日の朝まで」。ミニには喜ぶの音があつた。方針作りも本格的になつてきたのである。

アキラ NO.101

1982.12.16

4の2

パーティ

小林 岳

パーティは楽しかった。おもしろかった。
 あんなパーティをやったのは初めてだ。
 あんなおもしろいのは初めてだ。
 あんなパーティはなかなかできるパー
 ティではない。
 みんな、芸をするの作りのにたいへんだった。
 ろうと思う。ぼくはたいへんだった。かざり付
 けもたいへんだった。すごいたいたへんだった。
 ぼくが、一番おもしろかった芸は、チビ王
 子だ。ぼくは、一番つまらなかったのは、あの
 テストだ。テストしてもたいておもしろ
 くない。それでおいだ。つまんない。
 ぼくは、食えるときもおもしろかった。

12月4日(土)の「生上り、野本さんお居ます、永井さんかんぱい」パーティーのことについても
とりあえず、3世の作文を発行してみます。

いろいろなお母さん方のとし入れを食べられ
てしあわせだ。アイスクリームもおいしかったし
くしぎしのもおいしかった。あとおかしやい
ろいろなのも食べた。ほんとにしあわせだ。
よしむら君のうちのおそばもおいしかった。
ジュースは、もう飲めないうらいはらいつば
いにちやうた。それから歌もおもしろかった。
でもぼくのグループがく子のが、いつになる
のかまちどうしだった。最後だと田べたら
ぼくたちの出番だった。やつとおわりました。
おわりのことは松崎くんが言っていたようにし
まりました。

さかあがりパーティとおわかれパーティ&かんげいパーティ

座間 美野里

まちにまたパーティの日。原案などを、何回も書き、
やどでぎました。一番始めに予定した時より、1ヶ月くらい
おくれました。プログラム、お母さま方へのおねがいじょう、
かざりつけ、など大変でした。せきにん者は、だれなのか
ということや、仕事を進めていくのは、だれなのかということ
など、決めている間に、どんどん、予定した日よりも、おくれ
てしまったのです。いろいろな苦勞をして、やっとパーティが
できたのです。その日の日記には――「まちにまたさかあがり
&おわかれ&かんげいパーティ」の日がやってきました。前半
は、とてもにぎやかにパーティをすすめていきました。後半も、
にぎやかにやっていました。「先生から一言のあとから、だん
だん悲しくなっていました。先生が、とても悲しい歌を歌った
から……」などと書きました。始めは、おもしろい、芸などを見て、

名前 組 年

名前 組 年

にぎやかだったのが、悲しくなりました。なので、私は今までしてきた、パーティーの中で、この「さか上がり＆おわかれ」かんげいパーティーが一番、すばらしかったと思っています。それなりに、苦勞もして、やっとできた、パーティーだからです。全員、さか上がりができて、転入生が入り、こんないいことはありません。北村君と、野本さんが、転校してしまうのは、悲しいけれど、わらって、ないで、――こんなにすばらしいパーティーができたのも、全員が協力したこと。お母さま方も、協力して下さったことがあったからです。みんな、協力すること、いろいろなすばらしいことができるといふことがよくわかりました。また、こんなパーティーができれば、うれしいです。

3度のはあたたかく

土曜は「お祭しみ会」であった。

前々から学級会で話しあいをして、準備したものであった。私は全く関与していない。子供たちはグループを作って練習をしているようだった。

当日の正しものは、男の子が劇、女の子が「うた・音楽もの」が多かった。男の子の化装は、これだけで見ものになるが、出しものは、本人だけが楽しむ低級トタバタである。

全部が興って次のように表した。

「音楽でも作文でも劇でも、すべて表現に共通することですが、ホーに大切なはその表現が伝えられるということ。意味が達すること、つまり「達意」が大切なのです。その点では、男の子より女の子の方が圧倒的に良かったのです。」

しかしまた、表現は、他人のマネ、他人のコピーではなく、自分たちのものを創り出して、こうとする、とても大切です。創造には失敗はつきものですが、その心がまえば大変に豊饒なのです。この点では、女の子より男の子の方が圧倒的に良かったのです。

ですから、男の子の良さと女の子の良さを学ばせたいのです。」

私のこういう話が子供たちは好きらしい。「お話をして」とよくせがまれる。私は話を続けた。

「せっかく、男の子が喜劇と思われれるものをしてくれたので、喜劇の脚本を話しておきます。それは二つしかあ

りません。」

「ここで、庄君がいたずらしているのが目についた。彼を席に呼びよせて、頭をこつんとやるふりをした。彼はニコツとして席に帰った。私はもう一度呼びよせた。「先生は叱つてこつんとやっただけならそれらしくしろさい。」彼は「イデー」といつて席に帰った。私はもう二度呼びよせた。生徒たちは、ガラガラ笑った。「何か庄君、君はイデー時にニコニコするのさ。顔もあめせろさい」彼は言われた通りにした。膝についた彼をもう一度呼びよせた。教室は大爆笑になつていた。「あの庄君、先生は叩くつてないのに、どうしていたいんだ」爆笑席についた彼をまた呼びよせた。笑い、笑い、笑い、最後の私のセリフは「えーと、ああ、もうないや」そこで、まじめに言った。

「このように、喜劇の基本の一つは、同じことをくり返す。それもほんのちよつとみえてくり返すといふことです。この天才が、テレビのキンちゃんでも、もう一つは、突然思いがけぬことばあふるといふことです。」

私は最後をチームとして、うそつきバスターンのゲームを選んだ。オ五位 ティアドロップ探偵団(藤田、竹内、屋)オ四位 愛をください(新谷、野本)オ三位 潮風の少女(屋、松崎) オ二位 赤蓮寺町ドキン オ一位、北海道(屋、伊藤、大野、松崎、竹内、新谷、藤田、野本) とゆめ上今にうつっていた。

オ二位の伊藤、大野はテアを煮してふりをまねするだけだった。これがすぐくへただった。しかし、大野は昨日まで休んでいたのがある。練習もできなかったに違ふ。しかし、彼とはあたにかいものだ。本当にあたにかいものだ。そんな仲間を呼びこんで演技を考へるのである。一番入ったけど私は一番感動した。なみうんちなのだ。

4の2

1982. 7. 13

アチャラ No.52

お知らせ

連絡をいくつか書いていく。

一、アチャラの製本

アチャラの製本を希望する人は、一号から五〇号まで二つ折にして輪ゴムで止めておくこと。一冊に鉛筆を名前を入れておく

なお、学校帰り、学年通信などもまとめて五〇号のようになっておくといい。更にこの方は、一枚紙を用意して、表に自分の写真と名文を書き、裏に向山にサインなどをさせてもらい、一冊の本を作るつもりでいろいろ工夫を凝らすと思う。

アチャラは、16日17日に集める。製本代は20円から40円ぐらいの見込み。

二、夏休みの参校

私は夏休みに参校する日は次の通り、用がある方は、ないすめどうぞ。

七月二十八日

朝九時～十時ごろ

三〇日

プール

三一日

プール

八月十三日

日直

二七日

参校日（朝八時三〇分から九時三〇分）

二八日

日直（昼まで）

なお私の不在は次の通り。七月二二日～二四日、合宿。八月九日～十一日、新井南校

三、お楽しみ会

の合宿 八月十五日と十八日、日本教育学会会館（八月二二日と二三日、福岡県八幡市）

八月二十九日と三十一日、名古屋大学安藤氏の研究グループと合同合宿（豊橋）

お知らせした通り、二回月のお楽しみ会をする事になった。七月二十九日と八月十一日二回分の予定である。

ところが学級会で、男の子たちの主張で「母親・父親などの参観なし」に決ってしまった。女の子たちが困って相談にきた。学級会のことには参観会をひっくり返すしかない。しかし、子供にいやだという権利があるなら、親にもみたという権利があるから、親を味方にしろさい」と話した。

女の子たちは「お願いの文と署名」を書きつけて持ってきた。

私は子供たちに「親の署名は半紙を二えた紙に縦書きにする。いやなら、家のお父さん、お母さんを自分の味方にしろさい」と話した。

これは、あっちこっちで、いざという話があったりして面白かった。「子供の考えは子供の考え」しかし「親には親の考えがある」ということを示すため、とつても良かったと思う。

また、多くの人々の考えを知る方法はいくらあるんだろうかと思う。

とすれば、女の子たちに送る親たちの質問はものを考えた。あつて、七月十九日のお楽しみ会に、親・保護者の参観ありである。

イベントで子どもは成長する

井戸 砂織

一 「討議」で鍛えられる向山学級

10月の特典冊子は、主に1982年、向山氏38歳の時の学級通信『アチャラ』から組み立てられている。その中で、私が一番惹きつけられたのは、p24・25の「アチャラNo.83」の『さかあがりパーティー』の原案「討議」である。

学級でパーティーを行う際、私はこれまで、①教師主導型、②学級委員や係担当者主導型、③チャレラン・屋台型（どの子も運営遊び両方を行う）、④企画書作成型などの方法で行ってきた。

向山氏の実践を真似（たつもりで）、企画書を作らせたことはあったが、作らせた後の組み立てが全く違っていて衝撃だった。

アチャラを読んでいるようで、内容によっては全く自分の頭に入っていないこともよく

分かった。

向山氏の「さかあがりパーティー」の原案討議をまとめてみる。

- (1) 班ごとに原案を作る。全部で9班。
- (2) 各班の代表者が1〜2分程度の説明をする。

(3) 「この中から、この原案では絶対だめというものを一つだけ決めなさい」

- (4) 班ごとに意見をまとめ、発表をする。司会は向山先生。
- (5) 候補にあがった班について、「だめな理由」をそれぞれの班が言う。

(6) だめだと言われた班に30秒の弁明のチャンスが与えられる。
「よい所、うちの班じゃないところをアピールしろ」

- (7) 採決をする。これは、個人。
7班が22票で、姿を消す。
- (8) 30秒の班会議を持ち、同様のことを

くり返させる。

同様のことをくり返すとは、

- ① 班会議
- ② 消す班指名
- ③ 各班代表が理由を言う
- ④ 採決

と思われる。

- ①〜④の流れを★とする。
- 1回目の採決で7班が消える。↓★
- 2回目の採決で5班が消える。↓★
- 3回目の採決で8班が消える。↓★
- 4回目の採決で2班が消える。↓★
- このあと、「二通り消すのが終つて」と書かれており、この時点で6班が残っていないということは、5回目の採決で6班が消える。「一通り消すのが終つて、次は票が割れた」とあり、3班が消えている。
- 残るは、1、4、9班。

ここまでで、25分。司会は向山氏。テンポ良く凄いスピードで進められたことが予想される。

ここで、この討議を終え、最後に一つのチャ

ンスを与えている。

「明日、この続きをやる。もつと良い案を作りたいと思う班は修正案の提出を認める。明日の20分休みまで。今日、ダメになった班もくやしいうから、敗者復活の修正原案の提出を決める。明日の朝まで」

全ての班にチャンスが与えられた。

この学級では、それまでに2回、お楽しみ会が行われている。

お楽しみ会1回目 6月26日(土)
お楽しみ会2回目 7月19日(月)

とチャラのNo.40(p.30・31)には、1回目についてこのように書かれている。

「前々から学級会で話しあいをして、準備したものであった。私は全く関与していない」
会の前には、関与していないが、この会の後には、男女のそれぞれの出しものの足りない点と良さについて向山氏が考えを述べている。

さらに、この日の「最優秀チーム」を発表している。向山氏は、第二位の伊藤・大野チームを特にほめている。大野さんは、昨年まで、同学年の子にいじめられていたであろう子である。

2回目は、アチャラNo.52(p.32・33)に詳しい。

「パーティー」「お楽しみ会」の場面一つとっても、向山学級の子どもたちがいかに鍛えられていたのを知ることができる。

二 子どもを元気にする裏文化

T.O.S.Sで学び、私も数々の裏文化、そしてパーティーを行ってきた。

コロナ禍の3月、ある男の子の言葉は今も心に残っている。

「コロナでできないことがたくさんあったけれど、1年間すごく楽しかったです」

コロナに負けず、よく遊んだ1年だった。地域で夏祭りが中止になったと聞き、学級で夏祭りを行ったの

もその年だった。

その年の秋、ブラジル人の転校生が入ってくることになった。

「2組でもなく、3組でもなく、1組で良かったなあとB君が思ってくれるために、何をしたらいいと思う?」

子どもたちは歓迎パーティーをしようと準備を始めた。どの子も真剣だった。そして楽しそうだった。

前の学校でいじめられており、学校が嫌い、問題行動も多かったというB君だったが、みんなに可愛がられ、3月まで元気に学校に来ることができた。





10月特典

No.11 | 2024年10月

向山洋一 教育資料

1982 イベントを仕掛ける!「さかあがりパーティ」

発行日 2024年10月4日

発行所 向山洋一教育技術研究所

所在地 〒142-0064 東京都品川区旗の台2丁目4番12号



谷和樹の教育新宝島

<https://shintakarajima.jp>



向山洋一公式ウェブサイト

<https://mukoyamayoichi.com>

このPDFは、プリンタの「冊子印刷」を選択すると冊子になります。
他人への譲渡および個人研究以外の目的で使用することを禁じます。